

# たんぽぽだよ!



## 人間って

### 気持ちで生きている

理事長 荻部 一夫



緊急事態宣言中、事業自粛で、ご利用者様とご家族様には大変ご不便をおかけいたしました。皆様のご協力のお陰で、龍鳳では一人の感染者も出すことなく、現在は通常に近いサービス提供ができるようになっております。改めて感謝申し上げます。

最近、感染症と闘うのではなく、コロナと共存して生活するしかないと言われます。それは同時に、新しい生活習慣や社会構造に大きな変化をもたらすとも言われています。

「テレワーク」や「ウェブ会議」それ以外にも「オンライン教育」「電子決済」等、インターネットを利用した仕組みも急速に広まっています。「人と接しない」「対面しない」場面が増えていくのでしょうか。

龍鳳でも三密を防ぐため、会議や研修会を「ウェブ会議」で試行してみました。私のような者は、どうも画面だけではだめだと思う気持ちもありますが、ロボットやAIを利用した社会システムは後戻りできないと覚悟をきめなければなりません。

危機のときこそ、社会の脆弱な面が露呈するものです。これまでの日本が進めてきた「医療」「福祉」「困窮者」の課題にはより多くの予算が必要になるでしょう。一見「無駄」に見える「余裕」がなくなつた社会構造になつてしまっています。

もう一つ、改めて思ったことは、経済活動のことで。多くの企業で厳しい状況が起こり、倒産する会社も増えてきています。

「経済」とは何か、それが分かる一面が見えた気がします。経済活動が、物やサービスの対価としてお金が動くことだとすれば、今回の緊急事態宣言で移動の自粛によって痛手を受けたのは、特にサービス業だと思いました。物流は、ITを駆使して非接触、自動化することはできても、サービスの多くは直接触れ合ったり、感じ合ったりすることへの対価と言えます。サービスは生身であるが故の価値に対価を支払う経済活動なのです。音楽、エンターテインメントなどは、臨場感の中でしか味わえない感動があります。旅行や体験型のサービスもそこにいるからこそその価値と言えるでしょう。

「自粛疲れ」が、外出を「我慢」することだとすれば、人々が求めているものは「臨場感」や「非日常」でしか味わえない感動なのでしょう。ステイホームの過ごし方で多いのは、料理や工作、音楽鑑賞、読書などだと言います。やはり人間は体験や触れ合い、新しい出会いによる感動をいつでも求めています。経済活動は人々の精神活動の上に成り立っていることに改めて気づかされます。

このことは、障害者支援でも忘れてならないことだと思います。特に障害者は、家の中にこもりがちの状態になりますから、臨場感や触れ合い、新鮮な出会いのある活動をより求められていると思います。

この先に見えてくる世の中は、IT社会であることは間違いないかもしれませんが、それでも人間は常に「気持ちで生きている」ことを肝に据えておきたいと思っています。

# 8月の活動予定

| 日  | 月         | 火  | 水  | 木          | 金          | 土         |
|----|-----------|----|----|------------|------------|-----------|
| 2  | 3         | 4  | 5  | 6          | 7          | 1/8       |
| 9  | 10<br>山の日 | 11 | 12 | 13<br>夏季休暇 | 14<br>夏季休暇 | 15        |
| 16 | 17        | 18 | 19 | 20         | 21         | 22        |
| 23 | 24        | 25 | 26 | 27         | 28         | 29<br>開所日 |
| 30 | 31        |    |    |            |            |           |



## 天まで届け みんなの願い

法人がお世話になっているお宅からささを分けていただきました。願い事を吊るしたり、七夕飾りを作ったりして楽しみました。

～利用者さんの願いごとを紹介します～

- コロナが早く無くなりますように。そして、元の生活が戻りますように
- 早くクラブができますように
- あらしにあいたいです（あらしの大ファンです）
- (医療従事者の) お母さんが元気でいられますように
- 巨人が優勝しますように
- かつどんが食べたい！
- はやくかのじょがほしい

イベントが全くない中でのプチお楽しみになりました。みんなの願いがかないますように！！